



第3回常任理事会

日時 平成21年5月12日（火）18：00～19：20
場所 ロイトン札幌 20階「パールホール」
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

- 第1号 平成20年度一般会計収支決算に関する件
(榊山常任理事)
- 第2号 平成20年度救急医療対策費特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)
- 第3号 平成20年度社保対処費特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)
- 第4号 平成20年度収益事業特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)
- 第5号 平成20年度会員共済特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)
- 第6号 平成20年度育英資金特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)
- 第7号 平成20年度決算総括表に関する件
(榊山常任理事)
- 第8号 収益事業の税務申告に関する件
(榊山常任理事)

平成20年度一般会計ほか特別会計の収支決算書ならびに決算総括表を一括提案説明。監事による内部・外部監査報告書にもとづき提案どおり承認決定。

- 第9号 平成21年度道医・日医会費減免申請に関する件 (深澤常任理事)

道医会費減免申請者は、高齢免除1,092名、一般減免12名、研修医8名、合計1,112名で免除額26,696,000円。

日医会費減免申請者は、高齢免除548名、一般免除11名、合計559名で免除額17,543,000円。以上の減免を承認決定。

- 第10号 北海道医師会各種部会・委員会委員の委嘱に関する件 (深澤常任理事)

各郡市医師会および医育機関医師会から推薦を受けた各部会、委員会委員を名簿のとおり委嘱することと決定。

- 第11号 北海道健康づくり財団役員等の推薦に関する件 (深澤常任理事)

理事については現職の道医常任執行部役員5名は引続きとし、退任した上埜前道医理事（前札幌医会長）の後任には山光道医理事（現札幌医会長）とすること、評議員については島影局長を引続き推薦することを決定した。

- 第12号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座41件、道医認定生涯教育講座26件、合計67件を承認することと決定。

- 第13号 第2回理事会の開催に関する件

(深澤常任理事)

5月23日（土）午後4時から北海道医師会館9階理事会室で開催する標記会議の提出議題を決定。

- 第14号 第1回郡市医師会長協議会の開催に関する件 (深澤常任理事)

6月20日（土）午後4時から札幌グランドホテルで開催することと決定。

報告事項

1. 監査報告（内部：水元監事、外部：中村監事）
2. 北海道警察本部運転免許試験課との打合せ[4月23日（木）] について (深澤常任理事)

道路交通法の改正により、免許証更新時に75歳以上の高齢運転者に対し認知機能検査の受検を義務付ける制度が導入され、認知症の疑いがあった場合に違反などがある場合に臨時適性検査を実施することになり、その検査をする医師について当会に推薦の依頼があった。

3. 日医各委員会報告

- (1) 医療関係者対策委員会[5月8日（金）] について (北野常任理事)

矢野正子委員（聖マリア学院大学学長）から諸外国の看護制度や看護業務の概要について説明があり、ナース・プラクティショナー制度等について意見交換を行った。

第2回理事会

日時 平成21年5月23日（土）16：00～18：00
場所 北海道医師会 9階「理事会室」
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、山光・品田・伊藤・津田・沖・鈴木・増田・古屋・堀・杉元各理事、水元・中村・大口各監事、飯塚顧問、中川参与、塩野議長、本間副議長。
(事務局：島影事務局長ほか12名)

1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

- (1) 監査報告（内部：水元監事、外部：中村監事）
- (2) 緊急臨時的医師派遣事業について

(宮本副会長)

今年度の推進委員会および運営委員会の構成メンバーを承認後、平成20年度の事業実績を報告した。派遣状況は、19医療機関に対して延べ786日間であった。

- (3) 日医理事会報告（長瀬会長）

5月15日、舛添厚生労働大臣から新型インフルエンザの国内対策に関わる四師会との意見交換の場が設けられ、唐澤日医会長から、対策の一層の充実を図るべく「国民に対する正確かつ有用な情報提供の徹底」「新型インフルエンザワクチン対策の充実」「抗インフルエンザウイルス薬の備蓄の拡充と分配ルートの確立」「新型インフルエンザに対応する地域医療提供体制の強化」「鳥インフルエンザ（H5N1型）への監視と警戒の継続」を求める日医からの要望書を提出した。また事前の理事打合せ会では、中川日医常任理事から、4月21日開催された財務省財政制度等審議会財政構造改革部会における社会保障制度に関する議論と、翌22日の記者会見で公表した日医見解の説明を受けた。

- (4) 日医各委員会報告

- 1) 医師会共同利用施設検討委員会について

(伊藤理事)

本年12月に開催する医師会共同利用施設（臨時）総会のプログラム、および医師会病院等の運営課題把握のための調査に向けての協議を行った。

- 2) 国民生活安全対策委員会について(増田理事)

本委員会資料として提出された、平成20年度における国民生活安全対策に関する主な報道の問題事例について報告を行った。

- (5) 中央情勢報告（中川日医常任理事）

- (6) その他

- 1) 保険医療機関に対する指導について

(藤原常任理事)

北海道厚生局より提案のあった「平成21年度の指導実施計画」を了承。集团的個別指導は、6年サイクルでの実施が3年サイクルとなり、19地区22回の開催。他の個別指導と合わせ指導回数が増加し、すべてを当会で対応することが難しいことから、郡市医師会にも立会方への協力を要請した。また、新たな指導形態として提案のある「一般個別指導」は、21年度において「200床以上の公的病院を対象」としているが、実施については継続協議となった。

- 2) 新型インフルエンザ（H1N1）への対応について（三戸常任理事）

国内での新型インフルエンザ患者発生に伴う日医・道医等の対応、道対策本部の状況、政府の基本的対処方針等について説明した。また、本日付で「北海道医師会新型インフルエンザ対策本部」の設置が報告承認された。

- 3) ドクターヘリ運航調整委員会について

(目黒常任理事)

委員長に札幌医大・浅井教授、副委員長に小職が引き続き選出された。平成19年度ドクターヘリ運航実績報告書ならびに平成20年度運航実績について報告があり、20年度の実績報告書から、市町村別出動件数を掲載することとなった。また、今年度より新たに道北・道東にドクターヘリが運航されることから、今後の対応を検討し、名称を「道央ドクターヘリ運航調整委員会」に変更することや、本委員会に部会を設置し、2地域との連携について検討していくことが了承された。

4. 承認事項

- (1) 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

北海道健康づくり財団理事に、現職の道医常任執行部役員5名は引続きとし、退任した上埜前道医理事（前札幌医会長）の後任に、山光道医理事（現札幌医会長）の推薦を承認決定。

5. 協議事項

- 第1号 平成20年度一般会計収支決算に関する件

(榊山常任理事)

- 第2号 平成20年度救急医療対策費特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

- 第3号 平成20年度社保対処費特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

- 第4号 平成20年度収益事業特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

- 第5号 平成20年度会員共済特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

- 第6号 平成20年度育英資金特別会計収支決算に関する件

する件（榊山常任理事）

第7号 平成20年度決算総括表に関する件

（榊山常任理事）

第8号 収益事業の税務申告に関する件

（榊山常任理事）

平成20年度一般会計ほか特別会計の収支決算書ならびに決算総括表を一括提案説明。監事による内部・外部監査報告書にもとづき提案どおり承認決定。

第9号 平成21年度道医・日医会費減免申請に関する件（深澤常任理事）

道医会費減免申請者は、高齢免除1,092名、一般減免12名、研修医8名、合計1,112名で免除額26,696,000円。

日医会費減免申請者は、高齢免除548名、一般免除11名、合計559名で免除額17,543,000円。以上の減免を承認決定。

第10号 北海道医師会各種部会・委員会委員の委嘱に関する件（深澤常任理事）

各郡市医師会および医育機関医師会から推薦を受けた各部会、委員会委員を名簿のとおり委嘱することと決定。

第11号 第1回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

6月20日（土）午後4時から札幌グランドホテルで開催することと決定。

第12号 理事提案事項

(1) 北海道立北見病院の存続について（古屋理事）

古屋理事より北海道立北見病院の存続について支援方要望がなされ、宮本副会長より北見ブロック各医師会の意見を尊重していく旨答弁がなされた。

6. 道総医協関連事項（三宅副会長）

平成21年4月18日開催の第1回理事会以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

第4回常任理事会

日時 平成21年5月26日（火）18：00～20：12

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事

（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件

（深澤常任理事）

5月20日の審査委員会で指定「可」とされた新規

1名、再審3名の申請者を指定医師とすることに決定。

第2号 北海道社会保険診療報酬請求書審査委員会委員の推薦に関する件（藤原常任理事）

関係郡市医師会、専門医会から推薦のあった診療担当者代表49名（委嘱時の年齢70歳未満）を、支払基金幹事長に推薦することに決定。任期は平成21年6月1日から平成23年5月31日。

第3号 北海道老人クラブ連合会が行う健康づくり支援事業「健康をすすめる運動」委員会委員の就任に関する件（深澤常任理事）

事務局事業第四課・大島課長を推薦することに決定。

第4号 保険医療機関に対する一般個別指導に関する件（藤原常任理事）

北海道厚生局から申し出のあった、200床以上の公的病院約30件に対する「一般個別指導」の実施を条件付で了承。なお、条件を文書化して双方取り交わす方向で進めることと決定。

第5号 平成21年6月支給の職員に対する期末手当等の特例措置に関する件（深澤常任理事）

5月11日に発表された北海道人事委員会の特例措置に関する勧告どおり、北海道医師会職員においても暫定的な措置として支給月数の一部（0.2月）を凍結することと決定。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座27件、道医認定生涯教育講座41件、合計68件を承認することと決定。

第7号 その他

(1) 6月行事予定に関する件

報告事項

1. 生活保護医療に関する打合せ[5月14日（木）]について（藤原常任理事）

当会と北海道保健福祉部福祉局福祉援護課との間で標記打合せを開催し、今年度の実施要綱・個別指導実施計画（案）について道担当者から説明を受け、協議の結果、了承した。実施予定医療機関数は36カ所で、病院16、診療所20。そのうち介護療養型医療施設をもつ3医療機関については「生活保護法による指定介護機関に対する個別指導」をあわせて実施する予定。

2. 第89回北海道医学大会第1回幹事会[5月14日（木）]について（渡邊常任理事）

本年度は旭川医大の主担当で吉田学長を会頭として、9月26日（土）に札幌グランドホテルにおいて開催することや、大会役員の業務分担、参加分科会、総会プログラム等について決定した。特に、例年同大会総会の後半で行っている北海道医師会賞ならびに北海道知事賞贈呈式を最初に行うこととした。

3. 第82回日本産業衛生学会[5月20日(水)～22日(金)]について(小山常任理事)

「超高齢社会を迎える日本—その産業保健戦略」をメインテーマとし、福岡国際会場で開催された。今回は、歴年齢を意識することなく働くことのできる雇用環境づくりと、そこから作り出される高い生産能力の確保こそが今日の産業保健に求められていること、今後予測される就労人口の減少化問題に関すること、などに焦点をあてた内容であった。参加者は、約2,500名であった。次回は、福井県において開催予定。

4. 日医各委員会報告

(1) 産業保健委員会[5月7日(木)]について(小山常任理事)

心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引きの改訂、メンタルヘルス対策支援センターの事業、職域メンタルヘルス・ポータルサイトの概要等に関しての資料説明の後、第31回産業保健活動推進全国会議、日医認定産業保健制度、会長諮問事項等について協議した。

(2) 医事法関係検討委員会[5月15日(金)]について(橋本常任理事)

新型インフルエンザについて医療機関の対応および医師の応招義務、医師への訴訟問題についてフリーディスカッションが行われた。

(3) 生涯教育推進委員会[5月20日(水)]について(渡邊常任理事)

第14回日医「指導医のための教育ワークショップ」、日医生涯教育協力講座セミナー新企画「肺の生活習慣病: COPD<慢性気管支炎・肺気腫>」開設決定の報告、続いて既に実施されている同講座セミナー企画の各県実施予定分および都道府県医師会主催の指導医のための教育ワークショップの承認が行われた。その後、日医企画e-ラーニングのテーマ等、平成22年度以降の日医生涯教育制度実施要綱、生涯教育カリキュラム<2009>の日医雑誌への反映について協議を行った。

(4) 介護保険委員会[5月20日(水)]について(前川常任理事)

小職他1名の委員の交代、外部審議会の審議状況について報告説明が行われた後、今回のテーマ「在宅や居住系の施設などにおける介護職員による医行為(医療的ケア)について」と、医療保険との継続性ならびに維持期(生活)リハビリを中心に「介護保険におけるリハビリの重要性について」意見交換を行った。続いて、テーマに沿って各委員から提出された資料の説明が行われた。

(5) 広報委員会[5月21日(木)]について(山科常任理事)

標記委員会には、昨年度まで藤原常任理事が

委員として参画していたが、今年度から小職が委員として出席することとなった。会議では、中川常任理事から中央情勢報告として、5月18日に財政制度審議会 財政制度分科会財政構造改革部会の有識者からのヒアリングで「医療崩壊から脱出するための緊急提言」について中川常任理事が説明を行ったことと、また、5月11日の同部会で亀田隆明医療法人鉄蕉会理事長が「病院経営が抱える諸問題」についてヒアリングを受けたことについて解説があった。

(6) がん対策推進委員会[5月22日(金)]について(畑副会長)

会長諮問「がん検診の今後のあり方—検診受診率向上と精度管理システム—」に関する答申書作成にあたっての論点整理や、来る7月12日(日)に開催予定の「日医がん対策推進協議会」、国への子宮頸がん対策に係る要望書、女性特有のがん対策の推進等について協議した。

5. 外部各委員会報告

6. 各部報告

(1) 第1回医業経営・福利厚生部担当理事会[4月28日(火)]について(水谷常任理事)

会員共済制度に関する医業経営・福利厚生事業等検討委員会の開催を6月6日(土)午後5時から北海道医師会館で開催することと決定。昨年施行された公益法人改革法に関連して、一般社団法人あるいは公益社団法人のいずれかを選択した場合でも、共済事業が保険業法の取り扱いとなるため、継続か廃止かの選択をしなければならず、その方向性を検討することとなった。

(2) 第1回医療安全部担当理事会[5月23日(土)]について(橋本常任理事)

日医の医療安全調査委員会設置法案のアンケート調査について、郡市医師会の意見を聞いた上で担当部で検討した。担当部としての回答を作成したので、理事会の承認が得られれば日医に提出したい。